

CFA NEWSLETTER

グローバル金融アナリストの情報誌

No. 052 2020年8月号

CONTENTS

Topics

- 2020 ジャパン・インベストメント・カンファレンス - テーマ「Women in Investment Management」-
- 「インパクト投資」5回連続講座(ウェビナー)を開催
- CFAリサーチチャレンジ 国内大会キックオフ・ミーティングをオンライン形式で開催
～国内大会始動、過去最大参加チーム数に並ぶ19チームの参加～
- 2020年度 Member Satisfaction Survey報告
- 2021年よりCFA試験が全面的にCBTに移行

CFAJ Update

- 活動報告

CFA News & Trend

- CFA協会ブログ No.481より

SECの命名規則見直しはESGファンド名の混乱を解消するか？
Will Revisiting SEC's Names Rule Clear Up ESG Fund Name Confusion?

- 今後の主な予定
- 事務局より

本ニュースレターでは、世界の公正な投資市場をリードする専門資格CFA®（CFA協会認定証券アナリスト）の認定・推進機関であるCFA協会の活動から、情報をお届けいたします。取材の参考資料としてご活用いただくことができれば幸いです。
CFA協会ならびに日本CFA協会の詳細はホームページをご参照ください。

■ CFA協会 / <http://www.cfainstitute.org>

■ 一般社団法人日本CFA協会 / <http://www.cfasociety.org/japan>

Topics

2020 ジャパン・インベストメント・カンファレンス

－ テーマ「Women in Investment Management」－

日本CFA協会では、過去数年間は毎年7月に1日をかけて、著名スピーカーをお招きし、金融業界のプロフェッショナルが集う祭典として、ジャパン・インベストメント・カンファレンス（JIC）を開催して参りました。新型コロナウイルスの感染防止の観点から、2020年のJICは、「Women in Investment Management（資産運用業界における女性の活躍）」をテーマとしたバーチャル・カンファレンスとして開催いたします。これまでCFA協会が北米を中心に開催してきたテーマで、アジアでは初の試みとなります。CFA協会及び日本CFA協会が女性リーダーが誕生し、このタイミングでこのテーマを扱うことに大きな意義を見出しております。

コロナ禍で仕事及びプライベートで通常よりストレスが多いにも

関わらず、有志のワーキング・グループ・メンバーが議論、企画と準備を継続して下さっております。誠にありがとうございます。

カンファレンスは3部構成を現在想定しております。第1部は投資とジェンダー・ダイバーシティの関係性、第2部はキャリア・デベロップメント、第3部はもっと多様でインクルーシブな組織にするための具体的なヒント及びベストプラクティス、にそれぞれフォーカスを当てて参ります。

また7月28日には、Sarah Maynard（External Head of Diversity and Inclusion、CFA Institute）と日本CFA協会の三木隆二郎理事のリーダーシップのもと、日本CFA協会のコーポレートスポンサーを対象とした同テーマのプレ・ワークショップが行われました。

こちらのトピックにご興味のある方は是非、CFA協会による力作、DRIVING CHANGE: DIVERSITY & INCLUSION IN INVESTMENT MANAGEMENTを是非ご覧ください。

<https://www.cfainstitute.org/-/media/documents/survey/diversity-and-inclusion-report-full.ashx>

尚、今年のJICは12月17日（木）に開催予定です。JICのアップデートをご希望の場合はinfo@cfaj.orgまでご連絡ください。

JIC ワーキンググループリーダー
岡崎 新, CFA
荒井 卓, CFA

Topicsでご紹介していますイベントは、その多くの部分がボランティアの皆さまのご協力で運営されています。ご興味のある方はお気軽に協会事務局までお声がけください。

✉ info@cfaj.org

Topics

「インパクト投資」5回連続講座（ウェビナー）を開催

日本CFA協会では、会員の皆様に関心のある旬なコンテンツや、今後話題になりそうなテーマなどを中心に、積極的にセミナーを開催してきました。コロナ禍の中、物理的な開催が難しくなりましたが、会員の皆様に継続学習の機会を提供すべく、4月より積極的にオンライン開催のウェビナーへとシフトいたしました。

今回ご紹介したいのは、2020年5月より毎月連続で開催中の「インパクト投資」5回連続講座（プログラム・コミッティとアドボカシー・コミッティの共催）－「インパクト投資について考える～リスク・リターン・インパクトの新たな金融パラダイム」についてです。

「インパクト投資」とは、財務的

なリターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的及び環境的インパクトを、同時に生み出すことを意図する投資のことです。

従来の投資がリスクとリターンの2軸を判断軸にしていたのに対し、「インパクト投資」は、それに加えて第3の軸、インパクトも考慮する3軸評価で投資判断を行っています。

「インパクト投資」は、ESG投資の先にある投資行動（“Beyond ESG”）とも言われており、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けても重要な役割を担うと期待されています。

コロナ禍がもたらした地球規模的な危機により、私たちが、サステナブルな経済社会を構築する重

要性・必要性が再認識され、世界的な課題の解決に取組み、社会（S）や地球環境（E）にポジティブ・インパクトを与える企業に投資する「インパクト投資」が急速に拡大しています。グローバル・インパクト投資ネットワーク（GIIN）によると、世界における「インパクト投資」市場は、2019年末時点で前年比4割増の7,150億ドル（約77兆円）に達しました。

以下のように異なる切り口でインパクト投資を解説し、5回の連続講座を通じて、グローバルな観点からインパクト投資について議論できる共通の土俵を作ることが出来たと考えております。

	開催日	講座名	登録者/視聴者
第1回目	5/11	インパクト投資入門編	316名/230名
第2回目	6/18	インパクト投資の手法と事例紹介	300名/197名
第3回目	7/14	資本市場から見たインパクト投資	203名/160名
第4回目	8/24	インパクト投資を加速させる社会的インパクト評価・マネジメントの手法	申し込み受付中
第5回目	9/24	海外インパクト投資の最前線（仮題）	今後開催

開催済みの3回については、大勢の方々にご参加頂きました。当協会参加者を分析したところ、アセマネ、金融機関、コンサル系、監査法人、事業会社、金融当局、大学・教育・研究機関、メディアなど、参加者の多様な構成が伺えます。また、今回は2つのコミッティ（プロ

グラム、アドボカシー）共催であり、非会員の方も無料でご参加いただいております。連続講座を通じて、日本CFA協会の活動を知っていただく良い機会となり、協会のパブリシティ向上にもつながっていると思います。

今回の連続講座の講師陣につい

ては、ESG・SDGs・インパクト投資業界の専門家や日本を代表する社会課題解決型ベンチャーの経営陣にご登壇頂き、最新の情報とともに、先事例例などをご紹介いただいております。

講師（敬称略）

第1回目	・一般財団法人社会変革推進財団（SIIF）事業本部長 菅野 文美氏
第2回目	・株式会社みずほ銀行 リテール法人推進部次長 兼 SDGsビジネスデスク長 末吉 光太郎氏 ・新生企業投資株式会社 インパクト投資チーム シニアディレクター 黄 春梅/Chunmei Huang氏
第3回目	・野村アセットマネジメント株式会社 責任投資調査部長 今村 敏之氏
第4回目	・株式会社ブルー・マーブル・ジャパン 代表取締役 千葉 直紀氏 ・ユニファ株式会社 取締役CFO 星 直人氏
第5回目	・AXA Investment Managers, Global Head of Responsible Investment and Impact, Matt Christensen氏

充実した講義内容に加え、講座の後半に設けた質疑応答では、毎回答え切れないほどの数のレベルの高い質問をいただき、当協会会員が金融業界最前線にいる感度の高い母集団で構成されていることを再認識しました。

また、講義終了後のアンケートから追加質問が多数寄せられ、講義資料の共有のリクエストなどもあり、関心の高さも伺えました。参加者からのニーズに応えるために、5回連続講座では、すべて講演録を作成しており、講演資料とともに順時日本CFA協会のウェブサイトに掲載しております。

開催済みの3回分のアンケートの結果として、全体的にExcellent・Goodと感じた割合は、第1回目96% (n=100)、第2回目99% (n=67)、第3回目100% (n=56) と非常に高い評価を頂きました。

また、今回の連続講座の好評な結果を踏まえ、9月8日にはCFA協会APAC地域のソサエティの会員に向け、「Global and Japan-Specific Impact Investing Trends（仮題）」と英語のセミナー開催を予定しております。それに加え、今後5回連続講座の講義資料を英訳の上、CFA Institute Asia Pacific Research Exchange

(www.arx.cfa)に掲載することも準備しております。ESG関連分野において、当協会では、CFA協会に対して日本からの情報提供及び発信を積極的に行います。

今後も引き続き、会員ニーズに合わせ、質の高いセミナーを企画・開催してまいりますので、どうぞご期待ください。

アドボカシー・コミッティ チェア
三木隆二郎, CFA
プログラム・コミッティ ヴァイス・
チェア 黄春梅/Chunmei Huang,
CFA, CPA

当協会ホームページをリニューアルいたしました。ぜひご訪問ください。

<https://www.cfasociety.org/japan/Pages/default.aspx>

コンテンツについてご要望・ご意見などがあれば、協会事務局までご連絡ください。

✉ info@cfaj.org

Topics

CFA リサーチチャレンジ

国内大会キックオフ・ミーティングをオンライン形式で開催 ～国内大会始動、過去最大参加チーム数に並ぶ19チームの参加～

CFA協会リサーチチャレンジの2020-2021シーズンの始まりを告げるキックオフ・ミーティングが、去る2020年8月1日にオンラインで開催されました。



CFA協会リサーチチャレンジは、全世界の大学生・大学院生(1,100校、6,200名を超える学生)が参加する教育・ネットワーキング・イベントです。

3-5名で構成された大学生・大学院生チームの皆さんが株式アナリストとして、CFA協会が指定する分析対象企業を分析し、その優劣を競うイベントです。



今年の分析対象企業には株式会社ディスコ様にご協力いただけることとなりました。株式会社ディスコ様のご協力の下、8月25日には、学生チーム向けにIRミーティング(オンライン形式)も開催される予定です。

国内大会では、学生チームは、大学教員およびボランティアによって構成されるメンター(各チームに1名)から指導を受けながら分析を進め、

一次審査として企業の調査分析した英文レポートを提出します(今年は10月23日提出締め切り)。株式分析に詳しいボランティアで構成されたグレーダー(30名近くのご協力をいただいております)の審査によって国内ファイナルに進む6チームが選出されることとなります。国内ファイナルは12月前半に開催予定となっており、分析内容のプレゼンテーションとジャッジ(例年3-5名から構成)によるQ&Aセッションを含め、各チームの分析力を総合的に判断し、国内優勝チームが決まります。

その後、優勝チームは勝ち進むと、アジア太平洋小地区大会、アジア太平洋地域大会、世界大会のステージに駒を進め、各国、各小地区、各地域の代表と戦うこととなります。国内ファイナルを除いて(オンサイトかオンラインは現時点では未定です)今シーズンのすべての大会はオンライン開催で行うことが決定しております。

前述内容からもおわかりの通り、この大会は多くの方々によって支えられております。まず分析対象企業を引き受けて下さった株式会社ディスコ様。大会のプラチナ・スポンサーとしてファクトセット・パシフィック様、SMBC日興証券株式会社様にご協賛いただいております。そして、ゴールド・スポンサーとして東京海上アセットマネジメント株式会社様、インベ

スコ・アセットマネジメント株式会社様、ピムコジャパンリミテッド様にご協賛いただいております。さらに、学生チームを指導するメンター、レポートを評価するグレーダー、大会を運営する運営委員会、国内ファイナルで最終審査をしてくださるジャッジの皆様を加えて、総勢60名を超えるボランティアの方々に支えられております。この場を借りて感謝申し上げます。

また、今年で13回目を迎えるCFAリサーチチャレンジ国内大会ですが、初めてのオンライン形式での開催となりました。大会運営を含め、慣れないことも多く、ボランティアの皆様も戸惑うことも多いかと存じます。しかしながら、皆様の柔軟性とさまざまなアイデアをご提案いただくことで、例年以上にボランティアの皆様からのサポートをいただき、非常に心強く感じております。重ね重ね御礼申し上げます。

引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ユニバーシティ・コミットィ・チエア

松田あきみ, Ph.D., CFA

2020 年度 Member Satisfaction Survey 報告

7月に実施したMember Satisfaction Survey(会員満足度調査)の結果についてご報告いたします。本調査は当協会の会員(正会員、準会員、アソシエイト会員、プロフェッショナル会員)に対して電子メールをお送りして実施し、71名から回答をいただきました。ご協力頂き誠にありがとうございました。

回答者のプロフィール:回答者のプロフィールとしては、居住地域は関東(93%)、性別は男性(97%)、年齢区分は50代(31%)、40代(21%)、30代と60代(いずれも20%)の順に多く、当協会の会員になってからの年数では13年以上(49%)が最も多く、次に1~3年(31%)という結果でした。職種は多い方から、1位: その他(30%)、2位: ポートフォリオマネージャー(14%)、3位: チーフレベル幹部とコンサルタント(いずれも10%)の順になります。

年会費:「会費をどなたが払っていますか」という質問に対しては、ご自身でお支払い頂いている方が53%とお勧め

先にお支払い頂いている方をやや上回りました。「年会費についてどう思いますか」の問には、「普通」が69%で、「高い」の30%を上回りました。

活動分野別の満足度と重要性:当協会の活動分野(スピーカーセッション、ネットワーキング、大学関係、出版、広報、アドボカシー、受験者向け活動)について満足度と今後取り組む際に重要性について尋ねました。1:不満~4:非常に満足の4段階のスコアを平均すると、満足度ではスピーカーセッション(3.25)、出版(2.95)、大学関係(2.93)、アドボカシー(2.92)、の順で高く、広報(2.44)が低いという結果となりました。また、回答者が考える重要性では、スピーカーセッション(3.51)、広報(3.31)、アドボカシー(3.09)、受験者向け活動(3.00)、出版(2.96)、キャリア開発(2.94)の順で高いという結果となりました。

総合的満足度:回答者の総合的満足度は、1: 不満~4: 非常に満足の4

段階のスコアを平均すると3.06という結果となり、前年度の2.86から向上しました。

スピーカーセッションについて:スピーカーセッションについて、頻度とテーマそれぞれの満足度を尋ねたところ、平均スコアは頻度が3.10、テーマが3.09という結果となり、いずれも昨年(各2.94、2.90)から向上しました。

調査結果を受けて:会費水準については昨年と比べて「普通」と答えた方の比率が7割近くに増加しましたが、会員の皆様の会費に対する意識について引き続き留意して参ります。活動分野では、満足度と重要性の認識ギャップがある広報を強化する必要性を認識いたしました。

今回の調査結果を、今後の活動に活かして参ります。引き続き、当協会の活動についてご参加頂くとともに、ご意見・ご感想を頂ければ幸いです。

メンバーシップ・コミットイ

2021年よりCFA試験が全面的にCBTに移行

CFA協会は、米国東部時間8月4日午前10時に、2021年からレベル2と3の試験のコンピュータ・ベース試験(CBT)化を発表いたしました。これで既に発表済みのレベル1を含め、全レベルがCBT化に対応することになります。具体的な日程は紙ベース試験(PBT)で実施する予定だった2021年6月のCFAレベル2と3の試験を中止し、2021年5月に初回のCBTを実施する予定です。以降は、2月と8月にレベル2試験を、5月と11月にレベル3試験を実施し

ます。レベル1試験は、2021年から2月、5月、8月、11月の年4回CBTで実施される予定です。

レベル2とレベル3試験のCBT化は、デジタル化時代に合わせた運営の自由度を高めるとともに、新型コロナウイルスへの対応を効果的に行うことも目的として前倒しで実施したことになります。CBTに移行することで、試験の厳正さを維持しつつ、所要時間が縮小し、試験会場数が増加し、受験日の柔軟性が高まる(最大10日

間の期間中に予定が可能)など、受験者の負担軽減と利便性向上が期待されます。

結果として、2020年12月試験が最後のPBTとなり、8月19日が登録受け付け最終日です。8月20日からは、レベル2と3のCBTの登録受け付けが開始されます。

詳しくは、以下のCFA協会のウェブページをご覧ください。

<https://www.cfainstitute.org/en/programs/cfa/exam/exam-updates>

CFAJ Update

活動報告 このコーナーでは、日本 CFA 協会の各分野での活動状況をお知らせしております。

メンバーシップ

メンバーシップ・コミティの活動は大きく分けて2種類ございます。1つは、会員のメンバーシップバリューの向上策の一環としてネットワーキングなどのイベントを開催すること、もう1つは、将来の会員を増やすべくCFA試験受験者のサポートを行うことです。

メンバーシップバリューの向上に関しては、まずコロナ禍で協会の皆様が何を今一番必要としているかをお伺いすべく、5月にクイックサーベイを行いました。頂いた沢山のフィードバックを踏まえ、オンラインでのセミナーやネットワーキング・イベントを開催いたしました。例えば、7/15(水)のオンライン飲み会では、普段あまり参加できない海外の方を含め、業種等、多様なバックグラウンドの方々にお集まり頂き、個別のブレイクアウトを含め、大変盛況のうちに終えることができました。当日も次回の開催に関する要望が多く、英語版、職種別などのテーマ別も含め、今後のオンライン飲み会を企画・検討中でございますのでぜひご参加頂ければと思います。当面、各種イベントはオンライン中心として開催予定で、ネットワーキングと教育を掛け合わせたイベントであるブッククラブもオンラインに場所を移して継続しております。

受験生サポートについては、コロナ禍で6月から延期された2020年12月の試験に備え、CFA試験対策セミナー(オリエンテーション、指定計算機ワークショップ、財務分析等)、スタディグループ・キックオフ・ミーティングを7月から順次開催しております。受験生サポートイベ

ントも、活動の場をオンラインに移しておりますが、当協会としては引き続き受験者のみなさまをサポートして参ります。また、一時、コロナの影響で12月試験の東京試験センターが満席となり、受験者の皆さまにはご心配をおかけしましたが、現在は十分な会場が確保できております。

プログラム

プログラム・コミティでは、毎月2、3回程度のセミナーを企画・開催しています。

現在、東京を中心とした新型コロナウイルス感染拡大を受け、セミナーは基本的にオンライン(ウェビナー形式)で開催しています。会員の皆様からは、便利で参加しやすくなったと好評を頂いております。通常通りの対面式のセミナーを開催する場合には、一斉メールやホームページにてお知らせします。

引き続き、ご関心のあるテーマのご提案、セミナー講師を務めていただける方のご紹介などを歓迎いたします。その他、セミナー等に関連して、ご意見・ご希望等ございましたら、当協会事務局までご連絡ください。

3月14日から7月17日までの期間には、以下の通り幅広いテーマでセミナーを実施しました。

4/2 MSGF Online Seminar Fine Wine as Alternative Investment

5/11 インパクト投資について考える～リスク・リターン・インパクトの新たな金融パラダイム 第1回「インパクト投資入門編～世界と国内の最新動向」

5/21 Implications of the COVID-19

Shock to the Japanese Labor Market

6/9 Quantum Computing in Finance

6/18 インパクト投資について考える～リスク・リターン・インパクトの新たな金融パラダイム 第2回「インパクト投資の手法と事例紹介」

6/24 経済学からみたCOVID-19の経済への影響 ～従来型不況との違い～

7/2 COVID-19: The latest situation and implications for Japan and the Financial Sector

7/9 What is the SASB Framework and how is it influencing and being implemented into the investment management and corporate reporting process in Japan

7/14 インパクト投資について考える～リスク・リターン・インパクトの新たな金融パラダイム 第3回「資本市場から見たインパクト投資」

インダストリー・アウトリーチ

インダストリー・アウトリーチ・コミティでは、往訪によりスポンサー各社様との対話、交流を深めておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の余波を受けて訪問を中止せざるを得ない状況となりました。

その一方で、スポンサー各社様を交えたオンラインの活動として、7月15日には、主にスポンサーの運用担当、ESG担当にご参加いただき、CFA 協会の主催によりThe Future of Sustainability in Investing のラウンドテーブルを実施したほか、7月28日にはスポンサー各社様より参加者を募り、Inclusion &

Diversity Workshopをジャパン・インベストメント・カンファレンスのプレ企画として開催しました。今後も、当面はオンライン会議を活用したスポンサー様との交流を模索して参ります。

なお、当コミッティでは、当協会の新たなスポンサーを随時募集しております。スポンサーとなることに興味を持たれた企業様にはスポンサー・プログラムをご説明差し上げますので、是非お声がけください。

アドボカシー/倫理教育

特集記事をご覧ください。

ユニバーシティ

特集記事をご覧ください。

テクノロジー

協会ホームページ新プロジェクトとして、コンテンツについて順次見直し、修正を開始しております。8月末～9月には一旦修正を完了する予定ですが、その後も必要に応じて、随時見直しを行ってまいります。またウェビナーが増加しているため、より快適なウェビナーをお届けできるように、機器の整備も進めています。

広報・出版

広報・出版コミッティでは、CFA資格とその取得の意義、CFA Instituteのコンテンツ等を、LinkedIn、Twitter、Facebook等のソーシャルメディアを活

用して発信していきます。協会員、受験者、業界、関係省庁等のより多くの方々に理解していただくための発信の方法、その他の広報・出版活動の在り方について、幅広い会員の皆様のご参加を呼び掛けており、いただいたアイデアを積極的に採用していきたいと考えています。ご参加いただける方は当協会事務局 (info@cfaj.org) までぜひご連絡ください。

また、当コミッティの翻訳グループで、定期的に行っているCFA InstituteのBlogの翻訳はまもなく500回に達します。引き続きBlogやその他文献を翻訳してご紹介していきます。翻訳ボランティアにご興味がある方は協会 (info@cfaj.org) までぜひご連絡ください。

CFA News & Trend

日本CFA協会・翻訳グループでは、CFA協会が発行する刊行物、ブログ等の翻訳をしており、翻訳ボランティアを募集しています。少しでもご興味・ご関心があれば、こちら (imai@cfaj.org) までお気軽にお問い合わせください。

今回はCFA協会のホームページに掲載されているブログの翻訳の一例「No. 481、SECの命名規則見直しはESGファンド名の混乱を解消するか？」を紹介いたします。その他のブログの翻訳はこちらのリンクをご参照ください。

<https://www.cfasociety.org/japan/Pages/Blog.aspx>

SECの命名規則見直しはESGファンド名の混乱を解消するか？

Will Revisiting SEC's Names Rule Clear Up ESG Fund Name Confusion?

[マット・オルザーグ、CFA](#)

証券取引委員会 (SEC) はこのほど、ファンド名問題 (命名規則) 及び、この命名規則が依然として妥当なものであるか、あるいは更新すべきであ

るかについて、意見募集を行いました。それに対するCFA協会の意見をここで示します。

委員会は1997年2月に命名規則を

提示し、2001年1月に採択しました。規則採択に際し、委員会は投資家がファンド名だけをファンドの投資とリスクに関する情報の拠り所とする

ことを戒めましたが、「名前が投資家に伝えるところが多い」ということについては認めました。最終規則では、ファンドが少なくともその資産の80%を名前から示唆されるように投資することを求めています。それ以前は当時のSECのスタッフガイダンスを考慮し、65%の基準に基づいてファンド名を選定することが典型的でした。

当規則は投資目的、戦略、方針を記述しているファンド名には適用されません。

当規則は2001年の採択以来修正されたことはありませんが、その時以来、SECスタッフも業界も規則適用に関する多くの課題を認めてきました。

規則を見直そうとする弾みとなったのは、市場で環境、社会、企業統治（ESG）、あるいは持続可能な投資商品の急増が見られることです。ESGまたは持続可能な投資が意味するところについては普遍的な定義がなく、市中のESGまたは持続可能ファンドやETFには、ESGや持続可能投資を定義づけるそれぞれの哲学において大きな隔たりがあるため、これらの金融商品名が投資家に誤解を招く恐れがあるということをSECは懸念しているのです。

ファンド名は、販促と投資家への情報提供両方のために用いられます。ファンド名は常に重要ですが、ファンドが自らをESGまたは持続可能ファンドであると喧伝している昨今の課題においては、ファンド名にとど

まらない情報開示が特に有用です。

ESG/持続可能性の定義は依然としてつかみどころがなく、ESGの組み込みに関して多くの手法があるために、それは今後も変わることはなさそうです。ESGと持続可能商品を取り巻く多くの問題の一つは、個人個人が自らのESGや持続可能投資の定義を当てはめてしまうことにあります。ESGファンドを探している人がESGあるいは持続可能といった表題を目にすれば、彼らは自らの期待をそのファンドが提供するものに投影してしまうのです。

こうした用語が何を意味するのか、投資家に説明するようにファンドに求めることが有益かもしれません。こうした用語の使われ方がファンドによって異なるため、ファンドのリスクを比較しようとする投資家はより混乱する羽目に陥っているからです。透明性と比較可能性を実現し、投資家を保護する最善の方法は、ESGや持続可能性という用語がファンドの目的、制約、戦略、および投資特性とどのように関連しているかを、透明かつ比較可能な方法で投資家に説明するようにファンドに義務付けることである、とCFA協会は信じています。

ESG問題をめぐる規制の動きは勢いを増しています。SEC傘下の投資家助言員会は、下部委員会の「所有者としての投資家委員会」がまとめた草案を5月21日に承認し、発行者に求める報告要件を更新してESGファクターを含めるべきだ、と最近SECに対し

て勧告しました。

CFA協会は、ESG投資商品の分類と開示に関する業界基準を開発しているところです。この基準の目的は、投資運用会社がESG投資商品の特徴と利点をより伝えやすくし、そして投資家がESG投資商品の目的、制約、手法（戦略）、および保有銘柄（資産）をより理解、比較しやすくなるようにすることです。それは、CFA協会のグローバル投資パフォーマンス基準（GIPS®）が、過去のパフォーマンスに関する透明性と比較可能性を実現するのと同様です。

CFA協会は200名以上の応募者から15名のボランティアを選び、この基準の構造的要素を提案し、それに対する意見を募集することを目的としたワーキンググループを構成しました。このワーキンググループのメンバーは7つの異なる国出身であり、ESGについて深い専門知識を備え、資産の保有者、運用者、コンサルタント、サービス提供者、規制当局としての経験を持ち寄ります。ワーキンググループは、諮問のための提案を2020年7月末近く、そして最終勧告を年末までに公表することを目指しています。グループはまた、規則の公開草案が2021年夏、最終版が2022年に発出されることを期待しています。

（翻訳者：清水 英佑、CFA）

今後の主な予定 8月以降、日本CFA協会が主催する主なセミナー等の予定は以下の通りです。

【新型コロナウイルス感染拡大への対応について】

日本CFA協会では、新型コロナウイルス感染防止対策として、引き続き人が集まる形式でのイベント開催を見合わせております。事務局の勤務態勢は、一部で出勤しつつ大半を在宅勤務としております。事務局オフィスに人がいない日が多いため、ご訪問いただく場合は事前にご連絡ください。電話は平日10時から17時まで、従来の番号（03-3517-5471）におかけいただければスタッフが対応いたします。ご連絡はなるべく事務局宛てEメール info@cfaj.org にてお願いいたします。

● 8月19日（水）ウェビナー
CFA 試験対策（指定電卓ワークショップ）日本語
時間：19:00-20:30
講師：河野文化氏（CFA）
参加費：メンバー無料
受験者 3,000 円

● 8月20日（木）ウェビナー
CFA 試験対策（財務分析）
時間：19:00-20:30
講師：志村裕久氏（CFA）
参加費：メンバー無料
受験者 3,000 円

● 8月24日（月）ウェビナー
【日本CFA協会 5回連続講座】
インパクト投資について考える～
リスク・リターン・インパクトの
新たな金融パラダイム
第4回「インパクト投資を加速させる社会的インパクト評価・マネジメントの手法」
時間：18:30-20:00
モデレーター：黄春梅/Chunmei Huang 氏，CFA，CPA（新生企業

投資株式会社 シニアディレクター）
講師：千葉直紀氏（株式会社ブルー・マーブル・ジャパン 代表取締役）
星直人氏（ユニファ株式会社取締役 CFO）
参加費：無料

● 8月26日（水）ウェビナー
CFA 試験対策（計量分析）
時間：19:00-20:30
講師：志村裕久氏（CFA）
参加費：メンバー無料
受験者 3,000 円

● 8月27日（木）ウェビナー
CFA Prep (Calculator Workshop)
Time:19:00-20:30
Speaker: Mr. Stefano Spillo, CFA
English
Fee: Member Free,
Candidates JPY3,000

● 8月28日（金）
BOOK CLUB #5 Online Meeting
“Principles” by Ray Dalio
Time: 19:00-20:30
English
Fee: Free

● 9月2日（水）ウェビナー
Shareholder Activism in Japan
- What is happening in 2020? -
Topics: Investment Management Strategies, Economics
Time: 19:00-20:30
English
Speakers: Mr. Takeyuki Ishida (Head of Japan Research, ISS), Ms. Nga Pham, PhD, CFA (Research Fellow, Monash Centre for Financial Studies (MCFS))
Fee: Free

● 9月3日（木）ウェビナー
「コロナ禍の企業開示、規制の動向と開示事例」
時間：19:00-20:30
講師：三井千絵氏，CFA（野村総合研究所 上級研究員）
参加費：メンバー無料
受験者 2,000 円
非会員 3,000 円

● 9月8日(火) ウェビナー
Global and Japan-Specific
Impact Investing Trends (仮
題)
時間: 18:30-20:00
講師: Ms. Fumi Sugeno (Head of
Business Development, Social
Innovation, and Investment
Foundation (SIIF))
Fee: Free

● 9月9日(水) ウェビナー
Proposals for Better
Communication in the Financial
Statements - Seeking views
from users
利用者視点でみた財務諸表におけ
るベター・コミュニケーション
Time: 19:00-20:00
English
Speakers: Ms. Rika Suzuki (a
member of the International

Accounting Standards Board
(IASB)) Ms. Aida Vatrenjak
(technical staff at the Board
and leader of the Primary
Financial Statements project)
Fee: Free

● 9月10日(木)
Online Nomikai (virtual
networking session)
English
Time: 19:00-20:30
Fee: Free

● 9月15日(火) ウェビナー
金融庁 資産運用業高度化プログ
レスレポート2020
時間: 19:00-20:30 講師: 安野淳氏
(金融庁 総合政策局 総合政策課
資産運用高度化室長)
参加費: 無料

● 9月24日(木) ウェビナー
【日本CFA協会 5回連続講座】
インパクト投資について考える～
リスク・リターン・インパクトの
新たな金融パラダイム
第5回「海外インパクト投資の最
前線(仮題)」
時間: 18:30-20:30
モデレーター: 黄春梅/Chunmei
Huang氏, CFA, CPA (新生企業
投資株式会社 シニアディレクタ
ー)
講師: AXA Investment Managers
Matt Christensen氏
Global Head of Responsible
Investment and Impact
参加費: 無料

事務局より

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、協会事務局では3月末から5月末まで在宅勤務の体制を取りました。緊急事態宣言の解除を受け、6月から一部出勤可能としましたが、依然として、大半は在宅勤務を続けています。イベントも原則オンラインで開催し続けています。テレワークを可能にするよう仮想内線電話の機能を導入し、事務局にかかっていた電話を職員のスマホに転送できるようにしました。

このように体制を組むと、物理的

に開催するセミナーやミーティングがない限り、オフィスに常駐する意味が薄れたと感じられます。教育イベントもウェビナー形式で行ないませんが、投影資料が鮮明に見え、音声も鮮明で、質問も問題なくでき、かえって講演を聴くには好都合な面もあります。先日はオンラインネットワークワーキングも開催したところ、画面を通じてではありますが、参加者の方には十分楽しんでいただきました。

ポストコロナの世界も、オンライ

ン開催の便利さを味わってしまうと、完全に元に戻るとは思えません。リアルとバーチャルを使い分け、あるいは併用しながら、経済性が高く効果的な活動を展開できればと考えております。

尚、平中共同事務局長が一身上の都合により5月末で退職されましたので、ご報告申し上げます。

事務局長 中瀬 康彦, CFA



[報道に関するお問い合わせ先]日本CFA協会 事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-7
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー5階
Tel 03-3517-5471 / Fax 03-3517-5472
E-mail : info@cfaj.org
Website:<http://www.cfasociety.org/japan>